

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型サービスあすも(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 1日		～ 令和 7年 3月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	0
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 1日		～ 令和 7年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様一人ひとりの特性に合わせ、個別の対応を心掛けています。また、構造化された環境でお子様落ち着いて過ごせるよう配慮しています。 ・集団が苦手なお子さんは個人の活動を中心に、徐々に小集団での活動などヘスモールステップを心掛けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりにスケジュールを活用しお子様が見通しを持って過ごせるようにしています。 ・個人のスペース(部屋)を作り、落ち着いて過ごせるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの視点に関する勉強(研修)の実施
2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館や一般の遊戯施設等、屋外活動を積極的に取り入れています。それにより地域との交流も図れ、施設利用の際のルールやマナーも学ぶことが出来ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を利用する前にルール等約束事をお子様へ提示し確認するようにしています。 ・新しく利用する施設については事前に安全面などの問題を把握できるよう下見し、確認を行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化しないよう新たな活動場所の提供。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭支援を大事にし、関係機関との連携を積極的に行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議の参加や開催の提案を積極的に実施しています。 ・お子様やご家庭に変化があった際は関係機関に情報提供し共有できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所主体での支援会議の開催

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会等の保護者同士の交流の機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行状況により保護者様たちが一度に集まる場面を作るのが難しい。 ・日頃の療育準備等に割く時間が大きく、事業所として保護者会等を開催する余裕がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会等の開催時期の工夫や、感染予防対策の実施 ・効率の良い業務内容の見直し。人員配置の充実
2	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に対し個別対応するために必要とされる支援者側の知識や対応スキルの獲得は簡単ではなく時間と経験を要するが、そこに至るまでに辞めてしまう職員もいる。 ・事業所スタッフそれぞれが同じ視点で児童に対する事が必要だが、その視点も個人差が出てしまう事がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修での定期的な学びの場を提供し、全体として一定の水準を育てるようにしていく。 ・余裕のある人員配置により職員の心身の安定を図る。
3			